

授業科目名・形態	セイフティマネジメント 講義	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	畠山 ルミ子	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

安全な医療の提供は医療の基本となるものであり、医療事故防止や感染予防など医療安全管理は重要課題となっている。医療事故は、あってはならないが全くゼロにできないのが実情であり、患者の一番近くにいる最終ケア提供者であることが多い看護師は、医療安全管理においては最もリスクを抱えている立場にあると言える。本講義では、患者および家族と医療従事者双方を守る医療安全管理と感染予防対策について、国内の動向などの基本的考え方をふまえながら、医療現場で実際どのような取り組みがされているかを解説し、医療安全と感染防止対策における基本的知識の習得と看護の役割を理解する。

【到達目標】

- 1) 医療安全対策の歴史と動向、及びその概念を理解すること。
- 2) 医療機関における医療安全管理体制を理解すること。
- 3) 医療機関の現状、医療事故防止対策の考え方について学び、医療安全管理に対する自分なりの心構えができる。

【授業計画・内容】

- 第1回 医療安全対策の歴史と動向、医療施設における医療安全管理体制
- 第2回 医療事故防止の考え方①（どうして事故は起こるのか、インシデントレポートの重要性）
- 第3回 医療事故防止の考え方②（具体的な事例）
- 第4回 医療安全とコミュニケーション 演習含む
- 第5回 KYT（危険予知トレーニング）の実際 演習含む
- 第6回 感染予防の基本的考え方、医療施設における感染管理体制
- 第7回 医療現場における標準予防策の実際（手洗い、手袋装着方法等演習）
- 第8回 医療現場における職業感染管理活動の実際

【授業実施方法】

講義形式と演習（グループワーク、手洗い実習）

【授業準備】

講義内容を踏まえ復習を中心に行う。医療事故や感染症に対する新聞やマスコミ報道に関心を持ち、情報収集する。

【主な関連する科目】

なし

【教科書等】

系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践2 医療安全、川村治子、医学書院、2018

【参考文献】

医療におけるヒューマンエラー 第2版: なぜ間違える どう防ぐ 河野 龍太郎 医学書院、2014
 Team STEPPS を活用したヒューマンエラー防止策 東京慈恵会医科大学附属病院看護部・医療安全管理部、2017
 医療安全に活かす KYT、兵藤好美・細川京子、メジカルフレンド社、2013
 ルポ医療事故、出河雅彦、朝日新聞出版、2009
 基礎からわかる感染症、本田純一・操華子、ナツメ社、2012

【成績評価方法】

レポート 50%、授業態度等 50%による総合評価。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

一般病院において看護師としての臨床経験があり、また医療安全管理者として院内の医療安全推進のため、組織を横断的に関わる業務に従事。

医療安全業務に関わっている中で、実際に行っている活動や実際のインシデント報告事例を提示しながら、最終実施者が看護師であることの重要性について、学生に考える機会を与えたい。

【学生へのメッセージ】

医療現場において、医療事故や感染をゼロにすることは非常に困難ですが、安全安心な医療環境を提供するために努力し続けることは医療従事者の義務といえます。医療安全管理に関して大切なことは、一人ひとりが対策の重要性を理解し、一人ひとりが確実に実施することの積み重ねです。患者様、自分自身双方を守るために実際の医療の現場で何ができるのか、この講義を通して考えるきっかけになることを望みます。